

「(仮称) T-LOGI 相模原」 テナント募集中

～2025年末竣工予定、延床 94,000 m²超のマルチテナント型物流施設～

この度、神奈川県相模原市「(仮称) T-LOGI 相模原」(地上5階建て、延床面積約94,100 m²)が本格的にテナント募集を開始します。本物件は本年6月の工事着手を経て、2025年12月末の竣工に向け、本体建築工事が順調に進捗しています。神奈川県内の「T-LOGI」においては、「T-LOGI 横浜青葉」「T-LOGI 綾瀬」「T-LOGI 寒川」に続く第4弾となるマルチテナント型物流施設です。



<「(仮称) T-LOGI 相模原」外観>

1. 本物件の主な特徴

①運用面、雇用面において優位性の高い立地

本物件は、神奈川県の主要幹線道路の1つである国道129号(厚相バイパス)に隣接し、神奈川県内陸工業団地の玄関口でもある圏央道「相模原愛川」ICまで約2.0kmと、神奈川県内の工場・物流集積地至近かつ高速道路へのアクセスに優れており、首都圏をはじめとした広域配送に適した立地となっています。また、JR相模線「原当麻」駅から徒歩約18分という立地から、雇用面のポテンシャルも秘めています。

②使い勝手の良い施設仕様

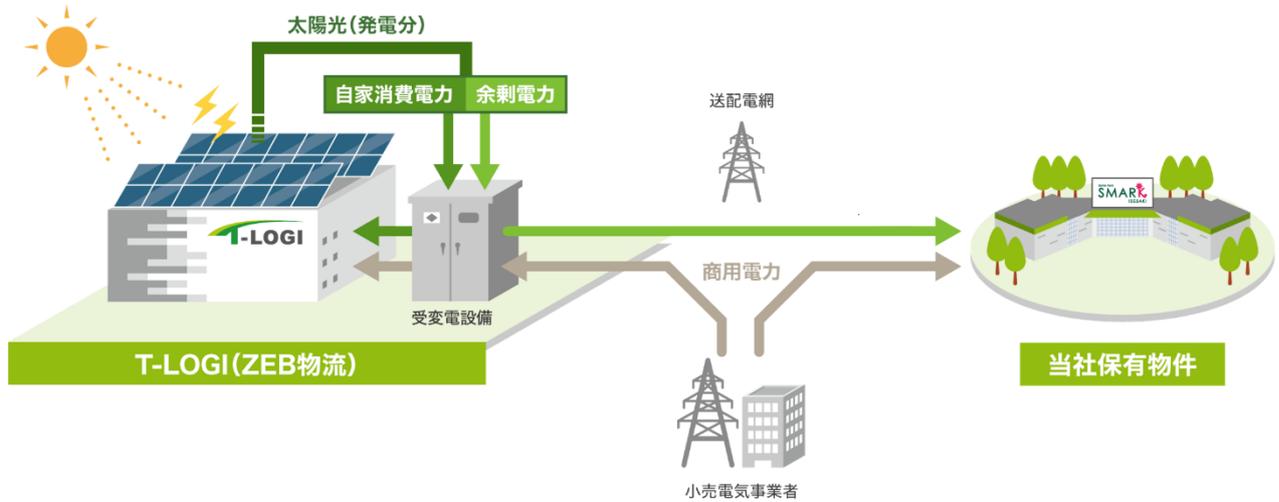
本物件は、最大9テナント企業様のご入居が可能なランプ型施設です。1階の最小分割区画については、倉庫床約4,240 m²(約1,280坪)と小区画かつ平屋利用が可能な仕様となっています。また、1階にご入居いただくテナント企業様には専用の車両出入り口を設けており、上層階と独立した車路の利用が可能です。上層

階については2-4階、3-5階でのメゾネットでの利用が可能な区画となっています。高スペックの荷物用エレベーター、垂直搬送機(かご車・パレット兼用)を区画ごとにそれぞれ1基ずつ設置しており、効率的な縦搬送が可能です。

③環境配慮の取り組み

本物件では、他の T-LOGI シリーズと同様に、屋上に設置した太陽光パネルにより発電された電力を商用電力と併せて施設内で自家消費する予定です。また、当施設内で消費しきれない余剰電力については、当社が所有する施設に送電することにより、再生可能エネルギーを余すことなく活用します。

本物件はこうした自家発電・自家消費の仕組みにより、環境に配慮した施設の証である「BELS (建築物省エネルギー性能表示制度)」※1 最高ランクである『ZEB』認証※2 及び「CASBEE※3」A ランクを取得予定です。



<自家消費と送電のイメージ>

※1 新築・既存の建築物において、省エネ性能を第三者評価機関が評価し認定する制度。

※2 「Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建築物。ZEBは、省エネ・創エネの割合に応じて以下の4段階に定義される。

- ①『ZEB』(省エネ+創エネで100%以上削減)、②Nearly ZEB (同75%以上削減)、③ZEB Ready (省エネで50%以上削減)、④ZEB Oriented (延床面積10,000㎡以上の建物で、事務所等は省エネで40%以上削減、ホテル等は省エネで30%以上削減)。

※3 建築環境総合性能評価システムのこと。建築物の環境品質と建築物の環境負荷の両面から建物の性能を評価する手法。

2. 位置図



3. 概要

竣工	2025 年末
所在地	神奈川県相模原市中央区田名字花ヶ谷戸 12004 他（地番）
交通	圏央道「相模原愛川」IC 約 2.0km JR 相模線「原当麻」駅徒歩約 18 分
敷地面積	約 38,712 m ² (約 11,710 坪)
延床面積	約 94,100 m ² (約 28,465 坪) (予定)
規模	地上 5 階
形状	5 層ランプ型 (トラックバース 1-3 階、4・5 階メゾネット)
設計	株式会社安藤・間
施工	株式会社安藤・間
構造	S 造
耐震区分	新耐震
プラットフォーム	1~3 階：高床式 1.0m
梁下有効天井高	各階 5.5m (予定)
柱スパン	10.1m(W)×9.6m(D)
床荷重	各階 1.5t/m ² ※1.5t フォークまで使用可能
ドックレベラー	1~3 階：各階 7 台 (予定)
バース数	大型車 計 125 台分 (予定)
駐車場	普通車 計 200 台 (予定)
トラック待機場	13 台 (予定)

【T-LOGI 全般に関する問い合わせ先】

東京建物株式会社 ロジスティクス事業部 TEL:03-3274-0962